



平成28年9月9日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
(コード番号 6619 東証第一部)
問合せ先 取締役 CFO 兼 経営企画本部長
竹 居 邦 彦
(TEL 03 - 5436 - 7155)

韓国における工場用地 MOU 締結及びコーティング設備投資決定のお知らせ

当社は、当社韓国子会社 W-SCOPE KOREA CO., LTD. が操業中の2区画に加え、平成28年5月30日に開示した工場用地とは別に、追加で新たに工場用地（以下、第3工場用地という。）を取得するため韓国産業団地公団とMOUを締結し、弊社が戦略的に進めている高付加価値製品であるコーティングセパレータの生産拠点を構築することとしました。また、その第1段階としてコーティングセパレータ生産設備2ラインの増設を決定いたしましたのでお知らせいたします。

<概要>

1. 目的

当社のリチウムイオン二次電池用セパレータにおきましては現在、民生機器用途では大手リチウムイオンバッテリーメーカーからの受注拡大、電気自動車（EV）等の車載用途においてはグローバルな市場拡大を受け旺盛な需要が見込まれております。当社顧客であるバッテリーメーカー各社は更に高密度・高出力・安全性の高さを追求しております。

このような環境下、当社におきましては取引先各社から耐熱特性に優れたコーティングセパレータの引き合いが強く、特に今後の先進国（欧米、韓国、日本等）のEV向け需要において急激な拡大が見込まれております。現在当社は第1工場用地に2ラインのコーティング設備を稼働させておりますがこれに加え、既存工場と隣接した第3工場用地に最大18本のコーティング設備を設置できる工場用地を取得し、第1段階として2ラインのコーティングセパレータ生産設備を増設することを決定いたしました。

2. 締結内容

所在地：大韓民国忠清北道梧倉工業団地内（第2工場用地隣接地）

投資総額：MOU 締結後5年以内に3千万USドル（約31億円相当）

敷地面積：約33,000㎡

取得の方法：40年の賃貸借契約

優遇措置等：土地賃借料の優遇、法人税の減免等（既存投資と同等水準）

3. 今後の推進計画

今回の投資決定は下記の通りであります。

投資金額：総額150億韓国ウォン（約15億円相当）

投資の概要：コーティングセパレータ生産設備2ライン及び付帯設備

量産開始予定：平成29年第2四半期

<業績への影響>

今期業績への影響はございません。今回確保した第3工場用地への設備投資計画は策定中であり、来期以降の生産能力増加に伴う業績への影響は計画を策定次第速やかに開示する予定であります。

<生産能力>

当社グループでは、現在稼働中のコーティング設備2ラインに加え、新たに投資決定した2ラインが稼働した場合、平成29年のコーティングセパレータの生産能力は、平成27年末の生産能力に対し約200%以上になると想定しております。

<その他>

この設備投資資金は、平成28年7月4日に開示いたしましたコミットメント型タームローン140億円の一部を充当する予定であります。

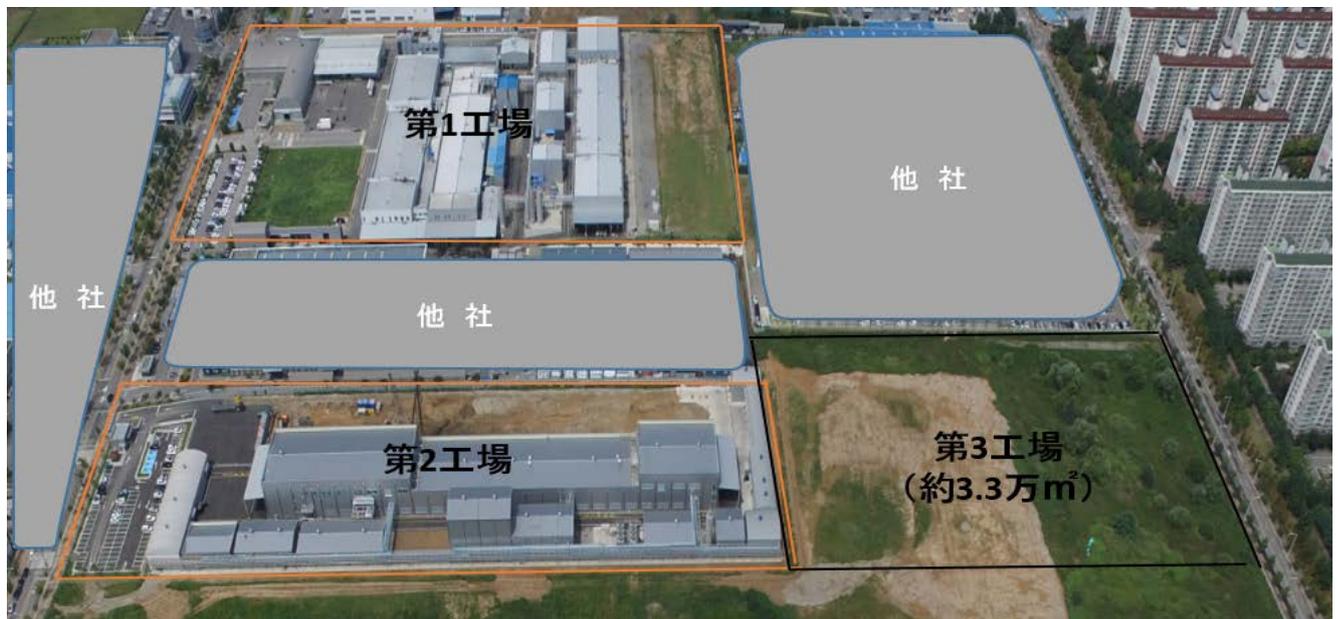
以 上

別紙

【敷地の概要】



【レイアウト図】



【用地比較】

	第1工場※	第2工場※	第3工場	忠州工場※
着工時期	平成17年11月	平成27年7月	平成28年9月予定	平成28年下期予定
敷地面積	約76,000㎡	約35,000㎡	約33,000㎡	約200,000㎡
設置済ライン数	第1～5号(第5号は量産稼働移行中)	第6～9号(第6、7号は量産稼働移行中、第8、9号は建設中)	—	—
設置可能ライン数	7本	4本	コーティングセパレータ生産設備18本	14本
設備投資資金			総額31億円相当のうち、第1段階としてコーティングセパレータ生産設備及び付帯設備15億円	総額315億円相当のうち、第1段階として生産設備135億円、コーティング装置を含むその他付帯設備50億円程度
資金調達	手当済	手当済	手当済	手当済

※平成28年5月30日公表時に第1区画、第2区画、新区画と表記していたものをそれぞれ第1工場、第2工場、忠州工場へと変更しております。